

## 序章 辰野町らしい景観形成に向けて【いただいたご意見：赤字部分】

荒神山や城前線などの桜、目にまぶしい山々の緑、乱舞するほたるの群れ、四季を通して清らかな横川溪谷の流れ、山々を彩る紅葉と黄葉、静寂の中で雪をかぶったしだれ栗など四季折々の美しい自然。

長い間、地域の人々によって大切に守られてきた道祖神や神社・寺などの歴史を物語る建造物、古い家並みを残す小野宿などの街道、地域で受け継がれてきた年中行事やお祭といった歴史的・文化的な景観。

そうした自然や歴史的・文化的景観と調和した、農業・林業・商業・工業、またそこで営まれる毎日の暮らしを映し出す里山や田園、街場の中にある生活の景観。

町内各地にある町固有の様々な景観は「辰野町らしさ」の一つであり、私たちに安らぎや感動を与えてくれます。また、子どもの頃からの見慣れた「あの日の風景」ともいえる景観は懐かしさを感じさせ、その土地を愛する気持ちを育みます。

そうした気持ちを町に住む人たちだけではなく、町を訪れた人、町を離れて暮らしている人、そして未来の子ども達にも感じてもらいたいと願っています。

そのために「辰野町景観計画」を効果的に用いて、美しく良好な辰野町らしい景観の形成を図り、未来へとつないでいきます。



写真 大城山からの眺め